

以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

〈iii頁・2行目〉

「意図と、その作品の解釈とは、本来、別のものである (Wimsatt and Beardsley 487)」
→ 「言葉が、いつも真実を語るとは限らない」

〈vi頁・5行目〉

「ニュー・ハリウッドという時代」 → 「ハリウッド・ルネサンスという時代」

〈23頁・註・下段10行目〉

「物語世界」 → 「物語内容」

〈同・註・下段11行目〉

「、物語内容」 → (削除)

〈同・註・下段14-15行目〉

「物語世界／プロット」 → 「便宜上、ストーリー／プロット」

〈24頁・註・上段1行目〉

※註6の最後に以下の文を加える。

「また、このほかに物語世界という語も用いるが、この用語についてはたとえばボードウェルらが、著書『フィルム・アート：入門』第8版において以下のように述べている。

ストーリーの展開する世界全体は時に映画のディエーゲーシス（「物語られるストーリー [recounted story]」を表すギリシアの言葉）と呼ばれる。

(Bordwell and Thompson *Film Art* 76)

ディエーゲーシスは、一般に物語世界と訳されることが多いが、ボードウェルらが括弧内に特記する原義からもわかるように、それは単なる場を指す言葉ではない。本書では、物語世界という語を、時に原義であるギリシア語の『物語られるストーリー』という意味に近づけながら、より幅広く使用することとしたい。」

〈同・註・上段 8 行目〉

「当時の」→「古典期から現在に至るまで、」

〈同・註・上段 10 行目〉

「多かった」→「ある」

〈156 頁・註・下段 9 行目〉

「知らなかつ」→「、以前にはよく聴いていたものの、すっかり忘れてい」

〈同・註・下段 10 行目〉

「が、彼が真実を語っているのかどうかはわからない」→（削除）

〈216 頁・1 行目〉 〈236 頁・索引・右列 13 番目〉

「トーマス」→「トマス」

〈220 頁・4 行目〉

「時代」→「課程在籍中」

〈同・8 行目〉

「第 3 章」→「第 4 章」

〈227 頁・23 行目〉

Bordwell, David, and Kristin Thompson. *Film Art, 8th edition.*, McGraw-Hill, 2008

※第 7 版の全訳は、『フィルム・アート 映画芸術入門』藤木秀朗監訳、飯岡詩朗、板倉史明、北野圭介、北村 洋、笹川慶子訳、名古屋大学出版会、2007 年。